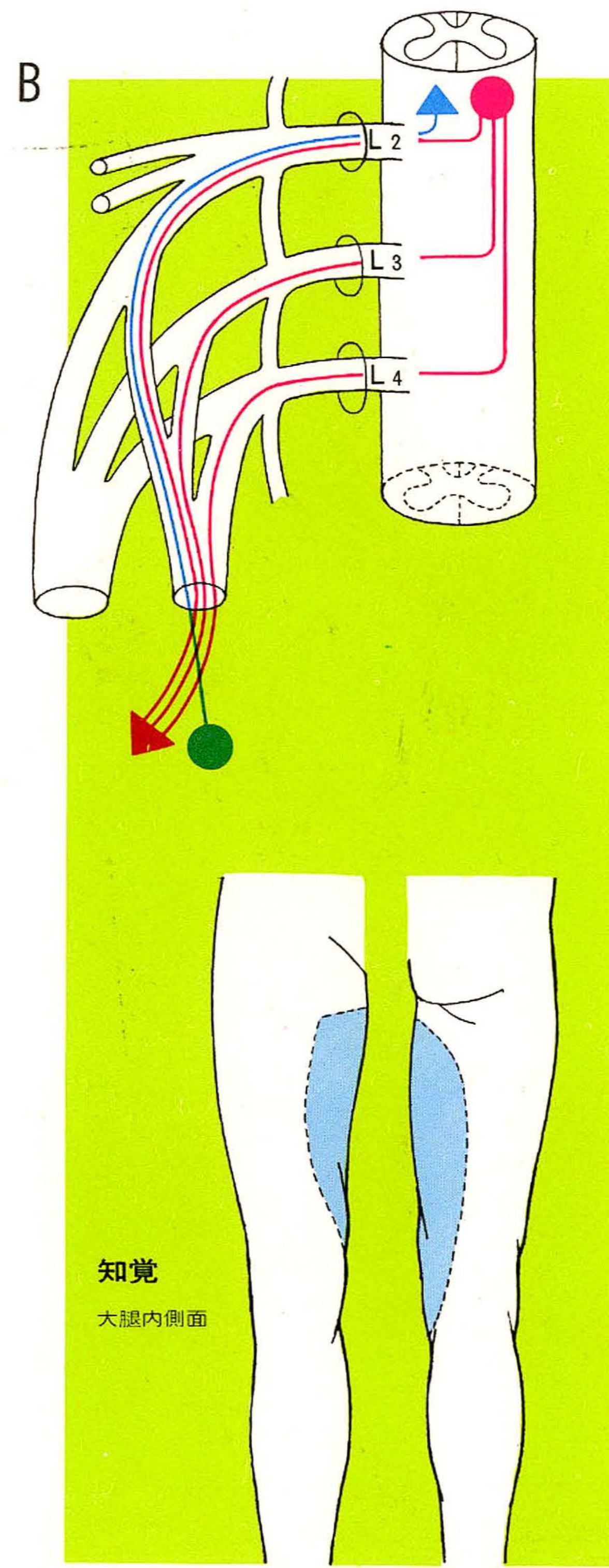
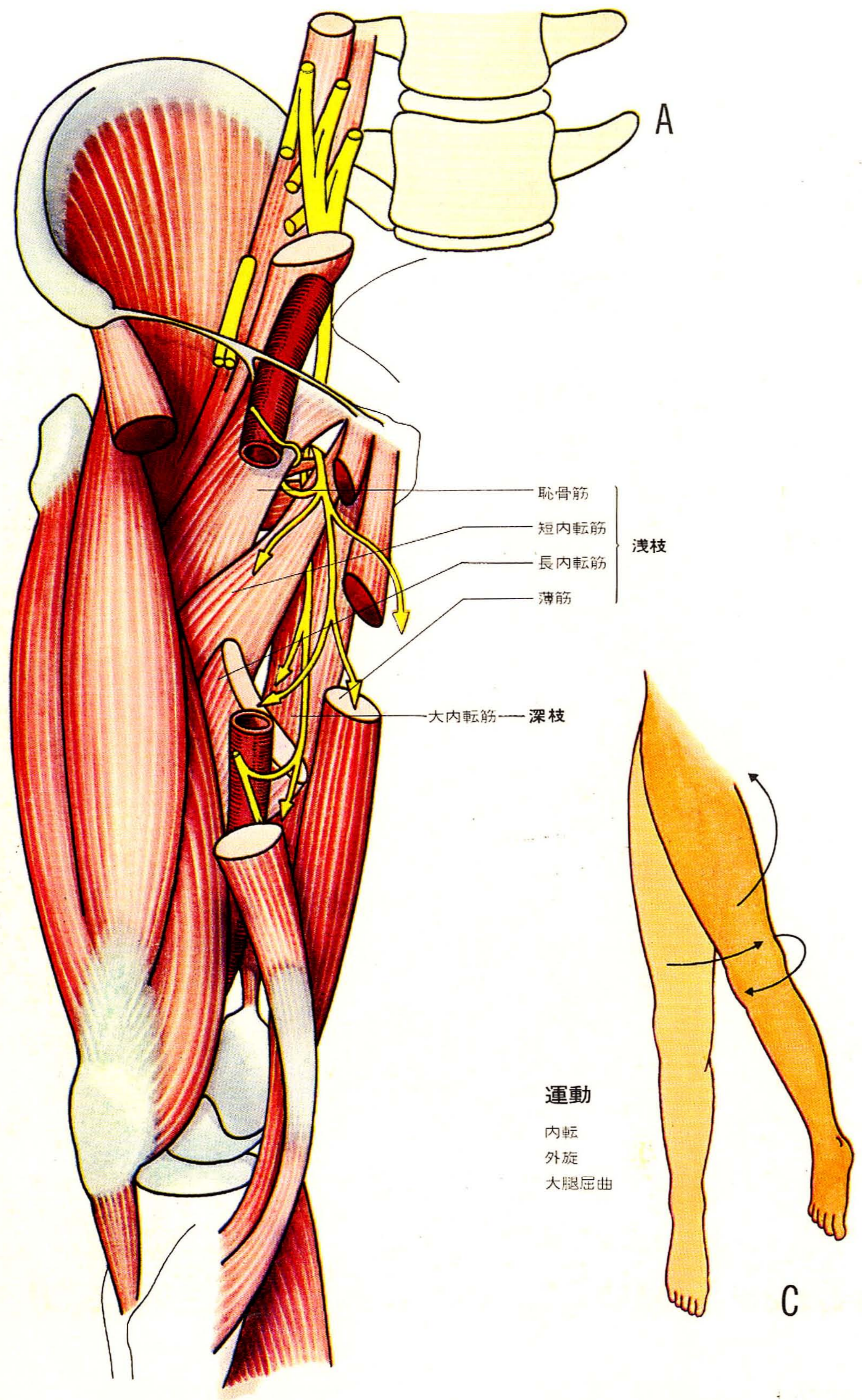


閉鎖神経



閉鎖神経 (N. obturatorius)

解剖

L2,3,4から出、腰筋の内側を下って骨盤に入り、同名動脈に沿って閉鎖孔を通り大腿上部内側に出て、筋枝を大腿内転筋群へ、皮枝を大腿内側の皮膚に与える。

機能

大内転筋、長及び短内転筋：大腿の内転を行なう。検査は座位または背臥位をとり、膝をかたく閉し、これを検者が開こうと試みる。また軽度到大腿屈曲、外旋の作用を示す。
知覚枝：図の如く大腿内側部の知覚を支配する。

臨床

大腿神経と同時に侵されることが多く、単独麻痺は稀である。妊娠子宮の圧迫、重い労働などで傷害されうる。大腿の内転と外旋が侵されるために下肢を組むことが困難となる。